

平成 30 年度 第 2 回 松山市子ども・子育て会議

教育・保育部会 会議録

1. 日時

平成 30 年 10 月 17 日(水) 10:00～10:40

2. 場所

松山市青少年センター3 階 小ホール

3. 当日の出席者等

(1) 出席委員 (10 人)

相原 真亜沙、上岡 周介、大江 保、香川 実恵子、富谷 円枝、二宮 一朗、三浦 和尚、村上 出、森 公夫、吉田 可奈子(五十音順、敬称略)

(2) 事務局

保育・幼稚園課、子育て支援課

4. 傍聴の可否

可(傍聴者 0 人)

5. 会議次第

(1) 開会

(2) 報告事項

①第 8 次地方分権一括法について(子ども・子育て関係部分)

(3) 審議事項

①本日の審議事項について

②新たに認可・認定を受けて平成 31 年 4 月から事業を開始する予定施設等の利用定員について

(4) その他

①連絡事項等

(5) 閉会

6. 配布資料

・部会次第

・松山市子ども・子育て会議 教育・保育部会 委員名簿

・【資料 1】第 8 次地方分権一括法について(子ども・子育て関係部分)

・【資料 2】本日の審議事項について

・【資料 3】新たに認可・認定を受けて平成 31 年 4 月から事業を開始する予定施設等の利用定員について

会議録

1. 開会

・事務局

それでは、ただ今から、平成 30 年度第 2 回松山市子ども・子育て会議教育・保育部会を開会させていただきます。

本日の部会につきましては、委員総数 10 名全員の御出席をいただいておりますので、松山市子ども・子育て会議条例第 8 条第 4 項の規定により準用する第 6 条第 2 項の規定により、本会議が成立しておりますことを、御報告させていただきます。

初めに保育・幼稚園課長の高岡よりご挨拶申し上げます。

～保育・幼稚園課長 挨拶～

・事務局

それでは、松山市子ども・子育て会議条例第 8 条第 4 項の規定により準用する第 6 条第 1 項の規定により、これより先は、三浦部会長に進行をお願いいたします。

2. 報告事項

・三浦部会長

おはようございます。もうすっかり秋の気温になってきました。今日はとても過ごしやすく、清々しい天気です。よろしくお願いいたします。

今日の議題は報告事項が 1 つと協議事項が 2 つとなっています。

それではまず本日の報告事項について事務局から説明をお願いします。

・事務局

～事務局から、資料 1 に基づき、「第 8 次地方分権一括法について（子ども・子育て関係部分）」を説明～

・三浦部会長

ありがとうございました。3 点報告していただきました。

1 つ目は幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定権限を、都道府県から中核市へ移譲するということですが、愛媛県では事務処理特定で、既に松山市へ移譲しているため影響はないということです。

2 つ目は幼保連携型認定こども園に係る床面積の基準についてですが、待機児童 100 人以上の地域が対象のため、松山市は対象ではないということです。

3 つ目は利用定員の変更等についてですが、今までは松山市と県が協議して最終決定だったものが今後は県へ届出ということです。松山市と県で協議が不調になったとは聞かないため、実質的には、今までと変わらないと思います。ご質問や確認がありましたらお願いいたします。

（各委員から意見なし）

3. 協議事項

・三浦部会長

ありがとうございます。それでは協議事項に移りたいと思います。

本日の協議事項について事務局からお願いいたします。

・事務局

～事務局から、資料 2 に基づき、「本日の審議事項について」を説明～

・三浦部会長

今日の審議事項ということですので、続いて説明をお願いします。

・事務局

～事務局から、資料 3 に基づき、「新たに認可・認定を受けて平成 31 年 4 月から事業を開始する予定施設等の利用定員について」を説明～

・三浦部会長

ありがとうございました。保育所・幼稚園から新たに認定こども園へ移行する施設の利用定員についてです。前回、質問のありました宮前保育所については、廃園ということになりましたが、子どもたちは別の園へ移ったということでした。

平成 31 年度の入園募集のために定員の人数を出すということで、今回仮決定し、1 月の会議で様々な状況も踏まえうえて、31 年度の定員を本決定する予定です。ご意見ご質問等ありましたらお願いいたします。

・二宮委員

定員については特に意見はありませんが、宮前保育所が廃園に至った経緯は、他の園でも起こりうる事案だと思います。おそらく、子どもは来るけれど、受け入れられないというのが、廃園に至った経緯だと思います。松山市の他の施設でもこのようなことが起こる可能性はあると思いますし、検討すべき課題ではないかと感じています。

今、園では、新しい職員の募集時期でもあります。職員となる学生自体の数も減っていますし、保育学科を希望する学生も減っているようです。利用定員を設定するのは、施設があればできると思いますが、保育士や幼稚園教諭がいないと、子どもを受け入れることができないということになります。

宮前の入所予定だった方や通われていた方も、別の園に行くことになったわけです。利用定員を設定して園児を募集する以上は、松山市が来年度の園の受入体制を整えていかなければいけないと思います。

・三浦部会長

ありがとうございました。全国的に保育士不足が深刻化しています。松山市が何か画期的な政策を打ち出してくればありがたいです。保育の質の問題にも関わりますので大切です。事務局から何かありますか。

・事務局

全国的に保育士不足ということが言われていますが、松山市の保育士の平成 24 年求人倍率は 1.04、平成 29 年には 2.42 ということで、求人が多くなっているのが現状です。各施設に毎年 1 月にアンケートを実施させていただいておりますが、直近のアンケートでは、「保育士が確保できる見込みである」と答えた施設は昨年度より少なく、年々厳しい状況になっているのは十分認識しています。

そういった中で、原因の 1 つと考えられるのは処遇の問題です。他の業種と比べて給与に 10 万円以上の開きがあると一般的によく言われています。そういった中で、国も給付費の中で、処遇改善加算を設けて、施設でも加算を活用していただき、できるだけ処遇改善を促進していくような取り組みを行っています。

また今、配慮を有する子どものケアや保育以外の事務量など、業務の負担感が高くなっています。市としても、保育士の業務軽減を図る専属の方を雇った施設に対して、その方の雇上費の一部を国の補助制度を活用しながら実施する事業も検討しています。

また、保育士の方が、モチベーションを持って働けるための方策が、保育士の方の継続就労につながるのではないかと考えております。各保育士養成校でお話を伺うと、県外の施設へ行ってしまいう方もいると聞きますので、できるだけ地元で定着してもらえることも大切と思っています。また養成校の学生さんに対して、直接、市の保育士が赴いて、やりがい等を伝えられるような取り組みも行っています。そういった連携も、今まで以上にしていきたいと考えており、今後は、養成校だけでなく、養成校へ行く前の高校など、進路を決める上で参考にしていただくためにも、保育士の魅力を伝えていく必要があると感じています。以上です。

・三浦部会長

ありがとうございました。施設の設置主体が様々ありますが、いろいろな施策を利用してほしいというような話でした。何かご質問等ございますか。

・森委員

保育士確保の課題というと、処遇の問題というところに注目しがちですが、私はそれだけだとは思いません。

養成校で抱いていた現場のイメージと、実際の現場に差があることも保育士の退職につながる要因です。その1つに事務量も多いことです。例えば午睡チェック。年齢によって、5分ごとに見回わりがあります。その時間、多くの保育士は、保護者向けの連絡ノートを書いています。事故を防ぐために必要なことは分かりますが、連絡ノートの記入には、なかなか集中できないと思います。

他にも、保育計画や保育記録等の事務にも細かいものが求められます。子どもとの楽しい関わりをイメージして仕事を始めた人には、ギャップが大きいと思います。何年か前の保育と比べると、子どもに関わることもよりも、管理するということに重きを置いているように感じます。

そういったことで、負担感が大きくなり、早期退職したり、養成校に入っている間に、保育所以外の一般企業への就職に流れたりする現実があると思います。

少し視点を変えて、保育士がモチベーションを持ち続けられるような職場環境を作るということも考えてほしいと思います。

・三浦部会長

ありがとうございました。今すぐに具体的な提言というのは難しいとは思いますが、今後しっかり考えていただきたいと思います。他にご質問等ございますか。

・相原委員

履歴書等を見ていたら結婚や出産で保育士をやめ、事務職で働くという方が多いです。私の周りで、子育てがひと段落して、保育士に戻りたいといわれている方もいます。しかし、ここ10年で保育も大きく変わっているため、戻る勇気がないと言われます。

そのような人たちを対象に、復職プログラムやセミナー等あればよいと思います。そうすれば若い人たちだけではなく、経験者も保育士として増やすことができると思います。潜在保育士の方の復職への道も考えて欲しいと思います。

・三浦部会長

補助員や支援員といった形でもできるかもしれませんね。他にご質問ございますか。

特にないようでしたら、議事を以上で締めさせていただきます。皆さん貴重なご意見ありがとうございました。

最後、連絡等事務局からお願いします。

4. その他（連絡事項）

- ・事務局

～事務局から、連絡事項を説明～

5. 閉会

- ・事務局

それでは三浦部会長、本当にありがとうございました。

以上をもちまして、「平成30年度第2回松山市子ども・子育て会議教育・保育部会」を閉会いたします。

委員の皆様におかれましては、円滑な議事の進行にご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。

（了）